

キリスト教教育委員会のHP(<http://rakuno-ce.org>)にアクセスして事前に聖書や讃美歌の確認をしましょう

らせた」と述べており、このテキストを読む者を平和へと導くかのようです。

「憲法9条にノーベル平和賞を」という活動をご存じでしょうか。この活動は鷹巣直美さんというひとりのクリスチャンの女性が始めたものです。戦争が絶えない世界を憂い、そして日本が再び戦争をしようとしているとの危機感から、世界でも例のない戦争の放棄を謳った憲法9条がノーベル平和賞を受賞したら、日本と世界の流れを変えることができると信じて活動を始めたそうです。この活動が開始した2014年に本学の春期キリスト教教育強調週間の講師に鷹巣さんと岡田えり子さんをお招きしたのですが、それ以降わたしも毎年ノーベル委員会に憲法9条をノーベル平和賞にと推薦してきました。

この活動は全国的・国際的な拡がりを見せ、2014年以来、憲法9条は毎年ノーベル平和賞候補にはなっているのですが、受賞資格等の問題もあり、残念ながら今年もノーベル平和賞を逃しました。しかし、発表当日に「憲法9条にノーベル平和賞を」実行委員会から、今年のノーベル平和賞の受賞者である国際NGO団体「核兵器廃絶国際キャンペーン」(ICAN)の受賞を祝福するメッセージに併せて、「96%の市区町村長は、ノーベル平和賞受賞者！あなたの街の首長さんに「ノーベル平和賞受賞のお祝いと、日本政府の条約参加への激励を届けよう！」という案内が届きました。というのは、ICANの構成団体である「平和首長会議」(162ヶ国、7453都市)は、被爆地である広島と長崎が中核都市であり、日本からも96%の自治体に相当する1687の市区町村が加盟していますので(大学のある江別市も隣の札幌市も加盟しています)、ICANの受賞はわたしたちにとっても無関係なものではありません。

昨日まで4年生のゼミの研修旅行で長崎を訪れてきたのですが、長崎と広島という被爆地から世界中の遠い地域まで平和のメッセージが拡がっていることを実感しつつ、近いはずの日本が平和から遠ざかっているように感じざるを得ませんでした。エフェソ書が語るように、「離れている人にも近くの人にも平和を」拡げていくために、平和の大切さを改めて覚えたいと思います。

【秋期キリスト教教育強調週間】2017年10月24日(火)10時40分

次回の大学礼拝は2017年度秋期キリスト教教育強調週間です。

聖書：詩編84編2-7節 讃美歌：312番、第2編188番

主題：「神のそばにいたい——被災地へと遣わされて」

講師：金 聖孝(キム・ソンヒョ)先生(在日大韓基督教会熊本教会牧師・ボランティアセンター「エルピス熊本」センター長)

金先生に熊本の被災地の実情と被災地でのボランティア活動についてお話しいただきます。学生、教職員のみなさん、是非ご出席ください。

【前回の大学礼拝】2017年10月10日

学生415名 教職員ほか18名 合計433名

【大学礼拝週報】 2017年度 第19号(後学期第4号)

2017年10月17日(火)午前10時40分

酪農学園大学 黒澤記念講堂

《大学礼拝》

司 式 小林昭博(キリスト教学教員)
奏 楽 佐藤理恵(野幌教会会員)
讃美指導 相原晴伴(循環農学類教員)

前 奏 「エルサレム、汝、高きに建てられし町よ」(ツイップ作曲)
讃美歌 讃美歌第二編 157番(この世のなみかぜさわぎ)
聖書 エフェソの信徒への手紙2章14-17節
祈り
さんび 酪農学園大学聖歌隊
奨 励 「離れている人にも近くの人にも平和を」 小林昭博
(循環農学類キリスト教応用倫理学研究室准教授)
報 告
讃美歌 讃美歌21 403番(聞けよ、愛と真理の)
後 奏 「あわれみは我に来たもう」(ペティト作曲)

【本日の聖書】エフェソの信徒への手紙2章14-17節

¹⁴ 実に、キリストはわたしたちの平和であります。二つのものを一つにし、御自分の肉において敵意という隔ての壁を取り壊し、¹⁵ 規則と戒律づくめの律法を廃棄されました。こうしてキリストは、双方を御自分において一人の新しい人に造り上げて平和を実現し、¹⁶ 十字架を通して、両者を一つの体として神と和解させ、十字架によって敵意を滅ぼされました。¹⁷ キリストはおいでになり、遠く離れているあなたがたにも、また、近くにいる人々にも、平和の福音を告げ知らせられました。

【奨励者からのメッセージ】「離れている人にも近くの人にも平和を」

本日の聖書テキストはイエスの十字架とは平和を実現するためものであり、イエスが到来したのは平和を告げ知らせるためであったと述べています。このテキストが語る平和とは、「二つのものを一つにする」「敵意という隔ての壁を取り壊す」「規則と規律づくめの律法を廃棄する」「双方を一人の新しい人にする」「両者を神と和解させる」「十字架によって敵意を滅ぼす」というものであり、イエスは「離れている者にも近くのものにも平和の福音を告げ知